

博士前期課程において養成する人材像に応じた履修モデル

＜製薬・医療機器関連企業での従事・開発者養成の履修モデル＞

製薬・医療機器関連企業での従事・開発者を目指す学生は、基盤的教育科目を通じて、医学一般と医療倫理・安全を学び、分野横断的科目を通じて知財と医療統計を学び、専門家養成科目1と特別研究をとおして創薬並びに機器開発ができる高度な専門性と実践力を身につける。

科目区分	授業科目	1年次		2年次		単位
		前期	後期	前期	後期	
基盤的教育科目	実用的解剖学特論	○				1
	実用的生理学特論	○				1
	薬理学・薬物療法学特論	○				1
	医療倫理学特論	○				1
	医療安全学特論	○				1
	知財戦略特論 I	○				1
	基礎医科学概論	○				1
分野横断的科目	知財戦略演習 I		○			1
	医療統計解析学特論		○			2
専門家養成科目 (医科学)	医療機器開発特論		○			2
	細胞分化・老化機構学特論	○				2
	再生医工学特論		○			2
	再生医工学演習	○	○			2
	遺伝子医科学特論	○				2
特別研究	医科学特別研究	○	○	○	○	10
合計						30

＜高度臨床実践者（包括的地域支援実践者（在宅・介護））養成の履修モデル＞

保健・医療の専門知識を地域支援に生かすことを目指す学生は、基礎医科学概論などの基盤的教育科目、地域医療システム学特論などの分野横断的科目の履修を通じて、基礎医科学の広い裾野の体系を学んだうえで、生活機能看護学特論等の専門家養成科目を学ぶことにより、地域の保健・医療のニーズに包括的に対応することができる高度な専門性と実践力を身につける。

科目区分	授業科目	1年次		2年次		単位
		前期	後期	前期	後期	
基盤的教育科目	実用的解剖学特論	○				1
	実用的生理学特論	○				1
	薬理学・薬物療法学特論	○				1
	医療倫理学特論			○		1

	医療安全学特論 知財戦略特論 I 基礎医科学概論	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1 1 1
分野横断的 科目	地域医療システム学特論 認知症予防学特論	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1 2
専門家 養成科目 (保健学)	生活機能看護学特論 高齢者看護学特論 高齢者看護学演習 統合支援看護学特論 統合支援看護学演習	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	2 2 2 2 2
特別研究	保健学特別研究	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> 10
合計					30

＜高度臨床実践者（包括的地域支援実践者（子育て支援））養成の履修モデル＞

子育て支援に関する保健・医療の専門知識を地域支援に生かすことを目指す学生は、基礎医科学概論や地域医療システム学特論の基盤的教育科目・分野横断科目の履修を通じて、基礎医科学の広い裾野の知識に立脚し、地域母子保健看護学などの専門知識の体系を学ぶことにより、地域の子育て保健・医療のニーズに包括的に対応することができる高度な専門性と実践力を身につける。

科目区分	授業科目	1年次		2年次		単位
		前期	後期	前期	後期	
基盤的 教育科目	実用的解剖学特論	<input type="radio"/>				1
	実用的生理学特論	<input type="radio"/>				1
	薬理学・薬物療法学特論	<input type="radio"/>				1
	医療倫理学特論	<input type="radio"/>				1
	医療安全学特論	<input type="radio"/>				1
	知財戦略特論 I	<input type="radio"/>				1
	基礎医科学概論	<input type="radio"/>				1
分野横断的 科目	地域医療システム学特論		<input type="radio"/>			1
	医療統計解析学特論		<input type="radio"/>			2
専門家 養成科目 (保健学)	地域母子保健看護学特論	<input type="radio"/>				2
	地域母子看護学演習		<input type="radio"/>			2
	成育看護学特論	<input type="radio"/>				2
	成育看護学演習		<input type="radio"/>			2
	統合支援看護学特論			<input type="radio"/>		2
特別研究	保健学特別研究	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> 10	
合計					30	

＜高度臨床実践者（看護管理者）養成の履修モデル＞

組織や地域レベルでの看護の発展に寄与することを目指す学生は、基礎医科学概論などの基盤的教育科目、地域医療システム学特論などの分野横断的科目的履修を通じて、基礎医科学の広い裾野の体系を学んだうえで、看護管理学を学び、高齢者看護や生活機能に関する演習を行うことにより、広く医療全体を俯瞰し、現場に役立つ看護管理を実現するための高度な専門性と実践力を身につける。

科目区分	授業科目	1年次		2年次		単位
		前期	後期	前期	後期	
基盤的教育科目	実用的解剖学特論	○				1
	実用的生理学特論	○				1
	薬理学・薬物療法学特論	○				1
	医療倫理学特論	○				1
	医療安全学特論	○				1
	知財戦略特論Ⅰ	○				1
	基礎医科学概論	○				1
分野横断的科目	地域医療システム学特論		○			1
	教育の原理と方法		○			2
専門家養成科目 (保健学)	看護管理学特論		○			2
	看護理論	○				2
	看護学研究方法特論	○				2
	高齢者看護学演習		○			2
	生活機能看護学演習		○			2
特別研究	保健学特別研究	○	○	○	○	10
合計						30

＜高度臨床実践者（認定遺伝カウンセラー®）養成の履修モデル＞

認定遺伝カウンセラー®を目指す学生は、基盤的教育科目を通じて、医学一般と医療倫理・安全を学び、分野横断的科目を通じて地域医療システムを学んだうえで、専門家養成科目から「基礎人類遺伝学特論」、「遺伝カウンセリング演習・実習」等の認定遺伝カウンセラー®の専門資格取得に必要な知識・技術を修得するための科目（21単位）を受講するよう履修指導する。なお、十分な実習指導を行うために、認定遺伝カウンセラー®を目指す学生は、各学年2名までとする。

科目区分	授業科目	1年次		2年次		単位
		前期	後期	前期	後期	
基盤的教育科目	実用的解剖学特論	○				1
	実用的生理学特論	○				1
	薬理学・薬物療法学特論	○				1
	医療倫理学特論			○		1
	医療安全学特論			○		1
	知財戦略特論Ⅰ	○				1
	基礎医科学概論	○				1
分野横断的科目	地域医療システム学特論		○			1
専門家養成科目 (医科学)	基礎人類遺伝学特論Ⅰ	○				2
	基礎人類遺伝学特論Ⅱ		○			2
	基礎人類遺伝学演習Ⅰ	○				1
	基礎人類遺伝学演習Ⅱ		○			1
	臨床遺伝学特論	○				1
	臨床遺伝学演習		○			1
	遺伝サービス情報学演習	○				1
	遺伝医療と社会特論		○			1
	遺伝医療と倫理演習		○			1
	遺伝カウンセリング特論	○				2
	遺伝カウンセリング演習Ⅰ		○			1
	遺伝カウンセリング演習Ⅱ			○		1
特別研究	遺伝カウンセリング実習Ⅰ	○				2
	遺伝カウンセリング実習Ⅱ		○	○		4
特別研究	医科学特別研究	○	○	○	○	10
合計						39

＜高度臨床実践者（がん看護専門看護師）養成の履修モデル＞

がん看護専門看護師を目指す学生は、基盤的教育科目を通じて、医学一般と医療倫理・安全を学び、分野横断的科目を通じて病態生理、臨床薬理を学んだうえで、「看護管理学特論」、「がん看護実習」等のがん看護専門看護師の専門資格取得に必要な知識・技術を修得するための科目（38 単位）を受講するよう履修指導する。なお、十分な実習指導を行うために、がん看護専門看護師を目指す学生は、各学年若干名とする。

科目区分	授業科目	1年次		2年次		単位
		前期	後期	前期	後期	
基盤的教育科目	実用的解剖学特論	○				1
	実用的生理学特論	○				1
	薬理学・薬物療法学特論	○				1
	医療倫理学特論		○			1
	医療安全学特論		○			1
	知財戦略特論Ⅰ	○				1
	基礎医科学概論	○				1
分野横断的科目	病態生理学特論	○				2
	臨床薬理学特論	○				2
専門家養成科目（保健学）	看護管理学特論		○			2
	看護理論	○				2
	看護倫理学特論	○				2
	看護教育学特論		○			2
	フィジカルアセスメント特論	○				2
	がん看護に関する病態生理学	○				2
	がん看護に関する理論	○				2
	がん治療支援に関する看護援助論	○				2
	緩和ケア特論Ⅰ	○				2
	緩和ケア特論Ⅱ		○			2
	緩和ケア演習Ⅰ		○			2
	緩和ケア演習Ⅱ		○			2
	がん看護学実習Ⅰ		○			2
	がん看護学実習Ⅱ		○			2
	がん看護学実習Ⅲ			○		6
特別研究	保健学特別研究	○	○	○	○	10
合計						55

＜後期課程に進学する場合の履修モデル＞

博士前期・後期を見据えた履修モデル（創薬・医療機器・診断技術関連企業での研究・開発者）

博士前期課程では、基盤教育科目を通じて、医学一般と医療倫理・安全を学び、分野横断的科目を通じて知財と医療統計を学び、専門家養成科目（医科学）と特別研究を通して製薬・医療機器関連企業等での従事・開発者としての専門性と実践力を身につける。

更に、創薬・医療機器・診断技術関連企業での研究・開発者を目指した高度な知識・技術・実践力を身につけるため、博士後期課程への進学を勧める。博士後期課程では、例えば、基盤的教育科目を通じて、専門分化した医学と医療倫理・安全を学び、スペシャリスト教育科目（医科学）とアドバンス教育科目（医科学）を通して組織工学技術を用いた循環器の再生に特化した知識と知財の知識を有し、特別研究を通して独立した研究者として創薬・医療機器・診断技術関連企業での研究・開発ができる高度な専門性と実践力を身につける。

博士前期・後期を見据えた履修モデル（バイオサイエンス起業家）

博士前期課程では、基盤教育科目を通じて、医学一般と医療倫理・安全を学び、分野横断的科目を通じて知財と医療統計を学び、専門家養成科目1と特別研究を通して製薬・医療機器関連企業等での従事・開発ができる専門性と実践力を身につける。

更に、バイオサイエンス起業家を目指した高度な知識・技術・実践力を身につけるため、博士後期課程への進学を勧める。博士後期課程では、例えば、基盤的教育科目を通じて、専門分化した医学と医療倫理・安全を学び、スペシャリスト教育科目とアドバンス教育科目1を通して染色体工学技術を用いた遺伝子操作技術に特化した知識と知財の知識を有し、特別研究を通して独立した研究者として染色体工学並びに遺伝子医療に関するバイオサイエンス起業ができる高度な専門性と実践力を身につける。

博士前期・後期を見据えた履修モデル（基礎医学教育・研究者）

博士前期課程では、必修の基盤的教育科目に加え、専門家養成科目で興味を持つ分野の科目および分野横断的科目の「教育の原理と方法」等の学習、さらには医科学特別研究を通じて、将来の研究者として、また、教育者としての基礎を学び、将来の基礎医学教育・研究者として基盤となる高度な専門性と実践力を身につける。

更に、基礎医学におけるより専門的な分野の教育・研究者を目指した高度な教育力・研究力を身につけるため、博士後期課程への進学を勧める。博士後期課程では、必修の基盤的教育科目に加え、スペシャリスト教育科目（医科学）、アドバンス教育科目（医学）で興味を持つ分野についてより高度かつ最先端の研究内容や研究方法を学ぶとともに統合医科学特別研究で医科学分野において新知見を見出し、それを論文として公表することで、独立した研究者および教育者として基礎医学分野において貢献できる高度な専門性と実践力を身につける。

博士前期・後期を見据えた履修モデル（保健学教育・研究者）

博士前期課程では、必修の基盤的教育科目に加え、専門家養成科目で興味を持つ分野の科目および分野横断的科目の「教育の原理と方法」等の学習、さらには保健学特別研究を通じて、将来の研究者として、また、教育者としての基礎を学び、将来の保健学教育・研究者として基盤となる高度な専門性と実践力を身につける。

更に、保健学におけるより専門的な分野の教育・研究者を目指した高度な教育力・研究力を身につけるため、博士後期課程への進学を勧める。博士後期課程では、必修の基礎的教育科目に加え、スペシャリスト教育科目（保健学）、アドバンス教育科目（保健学）で興味を持つ分野についてより高度かつ最先端の研究内容や研究方法を学ぶとともに統合保健学特別研究で保健学分野において新知見を見出し、それを論文として公表することで、独立した研究者および教育者として保健学分野において貢献できる高度な専門性と実践力を身につける。

＜進路変更時の履修モデル＞

(製薬・医療機器関連企業等での従事・開発者→高度臨床実践者(認知症予防専門士))

入学後半年までに他の分野への興味が出た場合、同じ修業年限での進路変更が可能である。

例えば、製薬・医療機器関連企業等での従事・開発者を目指す学生が認知症予防専門士に進路変更を希望した場合は、1年前期の段階で履修登録を変更し、1年後期から分野横断的科目の認知症予防学特論等の学習、更に、専門家養成科目(医科学)の認知症予防学演習や医科学特別研究を通じて認知症予防専門士としての高度な専門性と実践力を身につける。

指導教員に関しては、最初の主指導教員と相談したうえで、主指導教員と副指導教員の変更を行う。

なお、入学後半年以降に進路変更を希望する場合、修業年限の延長が必要である。

科目区分	授業科目	1年次		2年次		単位
		前期	後期	前期	後期	
基盤的 教育科目	実用的解剖学特論	○				1
	実用的生理学特論	○				1
	薬理学・薬物療法学特論	○				1
	医療倫理学特論	○				1
	医療安全学特論	○				1
	知財戦略特論Ⅰ	○				1
	基礎医科学概論	○				1
分野横断的 科目	知財戦略演習Ⅰ		⊖			削除
	医療統計解析学特論		⊖			削除
	認知症予防学特論			○		追加
	地域医療システム学特論		○			追加
専門家 養成科目 (医科学)	医療機器開発特論		⊖			削除
	認知症予防学演習		○			追加
	細胞分化・老化機構学特論	○				削除
	再生工学特論		⊖			削除
	再生工学演習	○	⊖			削除
	神経病態・遺伝子疾患学演習		○			追加
	遺伝子医科学特論	○				追加
専門家 養成科目 (保健学)	生活機能看護学特論			○		2
	生活機能看護学演習		○			2
特別研究	医科学特別研究	○	○	○	○	10
合計						32

※削除：履修を計画していたが取り止めた科目

※追加：進路変更に伴い新たに履修する科目